

# 「豊南っ子 だより」

(家庭数配布) 令和7年(2025年) 12月

4月に文部科学省による「学力・学習状況調査」を実施しました。義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から全国的な学習状況を把握分析し、教育施策の成果と課題を検証しその改善を図るとともに学校における児童への教育指導の充実や学習状況の改善などに役立てることを目的としております。対象学年は6年です。また、同時に大阪府では「すくすくウオッチ」というテストを5年生と6年生で実施しています。大阪府の全ての子どもたちが9年間の義務教育のもとで、みんなで子どもの育ちを見守るという主旨のもと、5年生では国語、算数、理科、わくわく問題とアンケート、6年生ではわくわく問題とアンケートを実施しております。特に、「わくわく問題」は教科横断型の問題となっています。この2つのテストを通して、本校では学力向上の取り組みの参考にしていきたいと考えております。しかしながら、この調査により測定できるのは、「学力の特定の一部」であり、学校教育活動の一側面であることをご了承ください。

## 【本校における結果からの課題について】

### 国語について

(6年生)

・言葉の特徴や使い方に関する知識と理解、目的に応じて文章と図表などを結び付け必要な情報を見つけること、自分の考えが伝わる文章になるように根拠を明確にして書くことについて課題が大きくなります。

→基本的な言葉や漢字の意味を理解し、正しく書ける知識の習得とともに、課題を克服するために、説明文や物語文の要旨を考え、読み深めていくように、日頃の授業において実践していきたいと考えています。

(5年生)

・「書くこと」について課題があります。文章から要旨を読み取り、自分の考え方を書いていくことや、文章をまとめていく力をつけていく必要があります。

→日々の国語の授業を大事にして、自分の考えをまとめ、友達の見解をじっくり聞くこと、説明文や物語文等様々な文章を読み、言葉の意味を調べ、言葉の知識を広げ、思考力や創造性を伸ばしていきたいと考えています。

### 算数について

(6年生)

・問題の意味を解釈し数量関係を捉えること、算数の用語や表現についての知識の習得と習得した知識を活用することに課題があります。

・表を読み取り、データを活用して関係性を考えて文章に表すことに課題があります。

→算数の学習では継続して文章を伴う問題について、問題の意味を考えて解き進めていくことに抵抗感なく取り組めるようにする力をつけていきたいと考えています。

(5年生)

・基礎、基本となる数と計算、図形、測定やデータの活用はできていましたが、測定値の変化と関係について、考え方を文章にまとめられるようになるよといわれます。

→文章を伴う問題に関して、問題の意味を考えることを継続させていくことでかなり力がついてくるといわれます。

### 理科について

(6年生)

・理科に関しては、特に「エネルギー」「生命」を柱とする問題、化学的や科学的思考問題に課題が大きくなりました。

→自分の生活と自然科学や化学等のつながりがわかり、理科に対する興味関心を高めていくことが望めます。授業では、基礎的な実験・観察などから実験に使った用具の理解とその使い方、実験や観察のやり方の理解とその考察を行い、科学・化学的思考力を積み上げていきたいと考えます。

(5年生)

・基礎的な、実験・観察などから科学・化学的な思考力の積み上げが課題です。

→理科についての自由研究や課題解決学習、自分で調べる学習、自由研究等を通して、理科に関する興味関心を高めたいと考えています。

### わくわく問題について

(5・6年生)

・問題を読み取る力、図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付け、それをもとに論理的に考えて伝えること、自分の興味関心があることを意欲的に工夫して伝えることが課題です。

→教科で学んだ内容を関連付けて理論的に考えること、日常の学習活動においてじっくりと文章を読み取りその考えを伝えることを重点に学習活動を実践していきたいと考えます。

### アンケート結果より

(6年生)

・「家の中にホッとする場所がある」という質問に対して肯定的な回答が100%でした。これはとても良い結果です。自分の安心できる場所があることは大事なことです。「友達と協力するのが楽しい。」という質問では、肯定的な回答が89.3%、「あなたには困ったときに相談できる友達がいる。」の肯定的回答は82.2%でした。これらが6年生の肯定的な回答が高い質問でした。家庭では安心してすごし、学級においても楽しく協力してすごしている姿が伺えます。

→6年生の児童は家庭・学校・地域に肯定的な考えを持っている児童が多いという様子が伺えます。委員会活動やクラブ活動、異学年交流、運動会など、様々な活動を通して、お互いにすばらしいところを評価し認め合える集団になっています。中学校進学に向けて、より地域や社会に目を向けること、自分の将来や未来を大切に思う気持ちを育てていきたいと考えています。

(5年生)

・5年生で肯定的な回答が多い質問は、「友達と協力することが楽しい。」(肯定的回答100%)「人が頑張っているのを見たり聞いたりすると応援したくなる」(肯定的回答97.8%)「自分は何が得意で苦手なことがわかっている」(肯定的回答97.8%)「あなたの学級は友達が困っているときたすけあう」(肯定的回答95.6%)「家の中にホッとする場所がある。」(肯定的回答100%)となりました。

→5年生の良い所は、学級はよいところを認め合える場所であると思っている所です。上記の強みを生かして、今後の学校行事、学年の取り組み、学習活動を通して、自分の考えを発表する機会を増やし、自信をつけさらに自己肯定感を高め、学校のリーダーとして学校を支えていってほしいと考えています。

### 今後の課題について

・学習面では、日々の学習活動を大切に、国語では「読む力」、「聞く力」や「書く力」、「伝える力」等基本的な知識と理解力を育てていくことに重点をおき、自分の考えを表現し、友達の考えを受容しそれを吟味してよりよく発信できるように力をつけていく必要があります。また、算数では算数的思考力、文章問題を読み解く力、理科では自然や科学、化学について興味関心を高めつつ、知識理解力を育てていき、自分の考えや調べたこと等に自信が持てるようになっていきたいと考えます。また、対話を通じた授業の構築により、コミュニケーション力の向上、そのための伝え・伝え合う学習を各教科で実践する等、本校の研究をさらに深めていくことにより実践していきたいと考えています。

・生活面では、生活習慣をより充実させ自己肯定感、自尊感情を育てるように褒めて伸ばしていく教育を継続して行っていきたいと考えています。